

詩の向こうで、僕らはそっと手をつなぐ。一萌詩アンソロジー



[詩の向こうで、僕らはそっと手をつなぐ。一萌詩アンソロジー_下载链接1](#)

著者:川口 晴美

出版者:ふらんす堂

出版时间:2014-6-5

装帧:单行本

isbn:9784781406053

◆萌えるBL詩集

萌えながら、詩を味わう。

珠玉の愛を詰め込んだ、新しい形の日本の現代詩アンソロジー

解説：川口晴美

表紙イラスト：山中ヒコ

きみを見たときから始った

ぼくの孤独に

世界は はげしく

破片ばかりを

投げ込もうとしていた。

（清岡卓行「思い出してはいけない」より）

◆解説「読むことは素敵な共犯者になること」より

言葉のなかで、連なる行の向こうで、「僕」と「きみ」は現実ではつなぐことがかなわなかったかもしれない手をこっそりとつなぐ。書き手と読み手は、異なるかもしれない場面を見ながら共犯者のように鼓動を重ねる。

詩は、そんな可能性を有しているのです。

◆収録作者一覧

寺山修司／中原中也／小林秀雄／石川啄木／島崎藤村／高村光太郎／萩原朔太郎／吉増剛造／吉野弘／武者小路実篤／立原道造／清岡卓行／村野四郎／金子光晴／鮎川信夫／大手拓次／村山槐多／北原白秋／辻征夫／石原吉郎／土井晩翠

作者紹介:

川口 晴美 (カワグチ ハルミ)

1962年福井県小浜市生まれ、早稲田大学第一文学部卒業。1985年に最初の詩集『水姫』（書肆山田）。2009年刊行の詩集『半島の地図』（思潮社）で第10回山本健吉文学賞を受賞（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

目録: 第1章

秘めた気持ちが疼いて（十六歳の少年の顔一思ひ出の自画像（大手拓次）

月夜の浜辺（中原中也）

君が花（石川啄木） ほか）

第2章 皮膚の熱は隠せない（恋を恋する人（萩原朔太郎）

なぜぼくの手が（鮎川信夫）

合唱（吉増剛造） ほか）

第3章 傷跡は見えないところに刻まれる（ココアのひと匙（石川啄木）
君に（村山槐多）
兄弟（北原白秋）（ほか）
.....[\(收起\)](#)

[詩の向こうで、僕らはそっと手をつなぐ。一萌詩アンソロジー_ダウンロード1](#)

タグ

アンソロジー

山中ヒコ

レビュー

[詩の向こうで、僕らはそっと手をつなぐ。一萌詩アンソロジー_ダウンロード1](#)

レビュー

[詩の向こうで、僕らはそっと手をつなぐ。一萌詩アンソロジー_ダウンロード1](#)